

令和5年度 宮崎大学入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和5年12月18日（月曜日） 宮崎大学事務局4階会議室	
委員	委員長 中澤 隆雄 委員 福山 裕茂 委員 町元 真也	
審議対象期間	令和4年11月1日～令和5年10月31日	
抽出案件（合計）	3件	（備考）宮崎大学入札監視委員会細則第5条に基づき、互選により中澤委員が委員長に選出された。 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事（小計）	3件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定対象工事）	0件	
一般競争入札 （上記工事を除く）	2件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
委員からの意見・質問及びそれに対する回答	意見・質問	
	回答	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別紙

質 問	回 答
<p>1. 令和4年11～令和5年10月の入札・契約結果について (事務局から説明) 委員からの意見なし</p> <p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (事務局から説明) 委員からの意見なし</p> <p>(1) 一般競争入札 【宮崎大学(木花)農学部実験研究棟(獣医)等改修電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札調書では5回入札を行っているが経緯をお伺いしたい。 ・ 5回の入札となった要因として予定価格の設定が低価格であったことは考えられるか。 ・ 4回目までの入札金額の下げ幅と比べて5回目の入札金額は大幅に下がっているが、再入札の連絡はどのようなされているのか。 ・ 当初参加を見込んでいた3者の業者はすべて宮崎県内の業者か。 ・ 資料3の入札・契約実績について、前年度と比較して今年度は発注件数が多くなっているが要因として何が考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の設定している予定価格に達しなかったため、繰り返し再入札を行ったところ、5回目で落札となった。 ・ 予定価格が極端に低価格というわけではないと考えるが、再入札のやり取りの中で入札参加者の入札金額の下げ幅が小さかったことが再入札の回数が多くなった要因と考えられる。 ・ 文部科学省が運用している電子入札システムを利用して入札業務を実施している。再入札を実施する場合、電子入札システムで入札参加者へ通知を送っている。 ・ 3者とも宮崎県内の業者を見込んでいた。 ・ 今年度は複数の予算が承認されたことから前年度に比べて工事件数が多くなった。

<ul style="list-style-type: none"> ・発注件数が多くなったことが入札参加者が1者となった要因と考えられるか。 ・資料12ページで「九州管内に建築業法に基づく許可を有する本店、支店又は営業所が所在すること」という文言が取り消し線で消されていますが、これは宮崎県内の事業者に限定することか。 ・総合評価落札方式ということであるが、評価項目の企業の技術力というのはどのように評価するのか。 ・個人や会社の表彰歴は評価の対象になるか。 ・地域精通度についてはどのように評価するのか。 ・ワークライフバランスの評価として、賃上げの実施について評価の対象としているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎大学も含め、今年度は宮崎県や宮崎市等も工事の発注が多いことが入札参加者が少ない要と考えられる。 ・九州管内に限らず、全国の事業者が参加できるよう制限を緩和している。 ・企業として同種工事の施工実績や、同じ工事種別の工事成績（過去2年分）の平均点を基に加算点を算出する。配置予定技術者についても同じ。 ・文部科学省が定める実施方針を基に評価項目を設定しているが、表彰歴は評価項目に含まれていない。 ・地域精通度については、宮崎県内に本店、支店又は営業所が所在するかを確認し評価している。 ・賃上げの有無について評価の対象としていない。
<p>(2) 一般競争入札</p> <p>【宮崎大学（木花）フロンティア科学総合研究センター（遺伝資源分野）4階改修機械設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札した業者以外の2者については入札金額が予定価格を大きく超過しているが、見積の間違いが発生していることは考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札時に入札金額の内訳書を提出していただき、内容を確認しているので、数量等に間違いが無いことは確認している。落札業者が空調調和設備を他の2者にくらべて安価に調達できることが入札金額の差につながったと考えられる。

<ul style="list-style-type: none"> ・数量公開や見積徴収先一覧を公表している理由 はなにか。 <p>(3) 随意契約 【宮崎大学（木花）農学部実験研究棟（獣医）改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改善策として入札参加者が僅少であることが想定される場合とあるが、どのように想定するのか。 ・特例監理技術者・管理技術者補佐とはどのようなものか。 ・資料8ページの工事一覧表に記載されている工事の中で、特例監理技術者の制度を利用した落札者はいるか。 ・今後も技術者の不足等で、入札が不調・不落となることが想定されるが、何か対策を検討しているか。 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価審査委員会や競争参加資格審査委員会の委員の構成はどのようになっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注者の積算の透明性や妥当性の確保とともに、入札参加者の積算、工事内訳書作成の効率化に資するため積極的に数量公開を実施するよう文部科学省から通知があり、それに従って公表している。 <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の入札の状況を見て、その後の入札について入札参加者が少なくなるかどうかを想定する。 ・技術者不足による入札参加見合わせを少なくするために、監理技術者補佐を工事現場に置くことで、監理技術者が複数の工事現場を担当できるようにする制度です。 ・特例監理技術者の制度を利用した業者はいない。 ・補助金等の予算で実施する工事について、工期を複数年度に跨って設定できるように、文部科学省へ予算措置についての要望を出している。 ・競争参加資格審査委員会については、施設環境部の部課長と財務部の部課長が構成員となっている。総合評価審査委員会については学外者や大学の教員が構成員となっている。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------